2020年５月13日

各　位

会 社 名　株式会社ハークスレイ
代表者名　代表取締役会長　青木 達也
（コード番号：7561 東証一部）
問合せ先　管理本部経理部部長　遊上 利之
ＴＥＬ　０６（６３７６）８０８８

業績予想と実績値との差異および剰余金の配当に関するお知らせ

2019年５月14日に公表いたしました2020年３月期の通期連結業績予想と、本日公表の実績値の差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

あわせて、通期個別業績の予想値については公表しておりませんでしたが、前期実績値との対比において差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2020年３月31日を基準日とする剰余金の処分（期末配当）について、2020年６月23日開催予定の第42期定時株主総会に付議することを本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2020年３月期通期連結業績予想数値と実績値との差異

（１）連結業績（2019年４月１日～2020年３月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	47,000	1,200	1,500	920	97円99銭
実　績（B）	47,382	944	1,244	1,276	135円72銭
増減額（B－A）	382	△256	△256	356	―
増減率（%）	0.8	△21.3	△17.0	38.7	―
（ご参考）前期実績（2019年３月期）	45,952	878	1,304	919	97円94銭

（２）個別業績（2019年４月１日～2020年３月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前期実績（A）	18,397	159	992	505	53円84銭
実　績（B）	17,534	131	636	206	21円95銭
増減額（B－A）	△862	△29	△356	△299	―
増減率（%）	△4.7	△17.5	△35.9	△59.2	―

２．差異が生じた理由および今後の対応

連結業績におきましては、新型コロナウイルスの影響により各種イベントや外出自粛の要請が強まる中で、売上高は予想通りとなりました。一方、人件費の増加や米をはじめとする食材価格の上昇の影響により、営業利益、経常利益が、計画未達となりましたが、2020 年２月４日にお知らせいたしましたとおり、連結子会社である店舗流通ネット株式会社の所有する不動産を売却したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が、予想を大幅に上回る結果となったものです。

個別業績におきましては、上記の理由のほか、当期純利益については、連結子会社である株式会社アサヒＬ＆Ｃからの配当金の計上差額との影響などにより、前期実績を下回る結果となったものです。

今後の対応といたしましては、新型コロナウイルスによる影響につきましては未だ予断を許さない状況でありますが、グループ各社の協力のもと運営体制の効率化および安定化施策を実施し、また 2020 年度中に竣工・稼動予定の株式会社アサヒＬ＆Ｃの第２工場による外販事業の拡大も見込まれ、2021 年３月期以降に向けて着実に事業が推移するものと判断しております。

３．配当の内容

	決　定　額	直近の配当予想 （2020年３月２日公表）	前期実績 （2019年３月期）
基準日	2020年３月31日	2020年３月31日	2019年３月31日
１株当たり配当金	38円00銭 （内　記念配当20円）	38円00銭 （内　記念配当20円）	18円00銭
配当金総額	357,864千円	－	169,158千円
効力発生日	2020年６月24日	－	2019年６月20日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

４．理由

当社では、株主還元の基準として、通期における連結配当性向 30％を目安としております。

このたび、本日公表しました 2020 年３月期の連結業績を踏まえ、2020 年３月２日公表の配当予想額通り、1 株当たり普通配当 18 円に記念配当 20 円を加え、期末配当を 38 円とする剰余金処分案を 2020 年６月 23 日開催の定時株主総会に上程することを、本日開催の取締役会で決議したものであります。

今後の配当につきましては、通期における連結配当性向 30％を目安としつつ、安定的な期末配当（剰余金処分）、中間配当（剰余金の配当）を実施していく方針であります。

以　上